

株式会社 前田金属製作所

産業用省力化機器の製造から
組立までが可能
自社製品の開発にも注力産
量
対
応

交野工場で使用中のタレットパンチングプレス

少数精鋭だからこそできる
「最良」の加工から
アイデア製品開発へ

昭和46年、消火器関連のプレス小物製造から始まった前田金属製作所。当初5名から始まった小さな町工場は、現在スタッフ40名、2工場を抱える企業へと発展した。高度経済成長期を経て、複雑な金属加工技術も進歩。今では、産業用省力化機器（プラスチック成型機周辺装置）製造、組立てまでを一手に行うまでに至っている。

「どのような金属加工でも、製作図面さえあれば、最良の方法とアイデアで加工する提案を出すことができる」と胸を張る同社。確かな技術を持ち、少数精鋭チームで担う仕事の速さと正確さが多角的な加工を可能にしている。

また、この人数体制とは反比例かのような同社の加工機器設備の種類の多さには、感心させられる。これらの設備の充実と技術との両輪が、どんな加工でも的確、スピーディーに行うことが可能だという自信に繋がっている。

そんな環境を背景に、金属加工の特



エアブロー洗浄機の一号機。現在開発中の製品は特許出願中でバージョンアップを図る

性を活かした「ステンレス製棚」や、「危険物格納庫」など、元来の製品製造はもちろん、「オゾン脱臭機」などに見られる環境科学分野のアイデア製品の開発にも力を注いでいる。

「今後は、太陽光パネルなどの分野に参入することで、社会への貢献度も高めていきたい」と語る田中社長。自身が電気工学の出身である事も、金属加工のみに限らず、多くのアイデアを生み出すことに大きく関与しているようだ。

クリーンな室内で利用可能
『エアブロー洗浄機』

自社製品の開発に注力している同社が、現在製作しているのはエアブローにおける洗浄装置。さまざまな複雑形状の機器をエアの力で洗浄する製品だ。例えば、工場で使用される機器の、フィルターの目詰まり解消等に威力を発揮するという。形成された箱の中の手を挿入し、汚れた部品を洗浄することで、外気との密閉性を確保。クリーンな室内でも使用できることが特徴だ。既に、展示会への出品が決まっているが、次世代機ではエア洗浄だけでなく、水洗浄の製品も検討する等、まだまだその進化は続いて行く。

「当社は何かに特化した技術はありません。しかし、金属加工ならどんなものでも正確に製作可能だという自信がある。それを活かすことこそ、時代を生き抜く突破口」という田中社長。このプラスチックに転じる考え方こそ、自社製品の創造も可能にしている製作所ならではの力になっている。

今後、更なるアイデア商材が飛び出すのか楽しみである。

Company Profile

株式会社前田金属製作所

大阪22

住 所 〒572-0077
寝屋川市点野3-14-2
TEL 072-828-2269
FAX 072-828-2842
設 立 昭和46年8月25日
資本金 1,000万円
従業員 40名
代表取締役 田中 淑尚

■主な事業内容

消火器部品、産業用省力化機器、環境関連器の加工・組立、精密部品および金型加工・レーザーカット・パンダー加工等

■主な取引先

プラスチック成形機器メーカー、消火器メーカー、パーナーメーカー

<http://www.maekin.co.jp>

他社には
負けない当社のものづくり
セールスポイント

多種多様なオーダーに対応
「最良」の技術を正確迅速にご提供

代表取締役 田中 淑尚 さん



確かな技術とスピード、多角的な方法をご提案できることが当社の強み。製作図面さえいただければ、アイデアと共にお見積りいたします。また、環境関連製品にも力を注ぎ、社会貢献できる企業としてチャレンジしていきます。